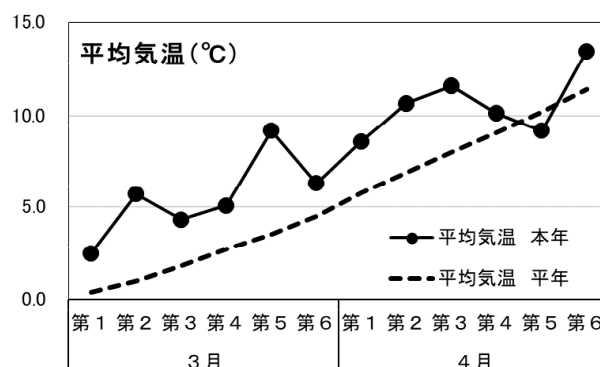


農作物の生育と作業の進捗状況（5月1日現在）

地域農林水産部

1 気象（弘前アメダス）

- ① 今期の積雪がゼロとなった日は例年より5日ほど早い3月20日となった。3月の平均気温は5.5℃で、平年に比べ3.2℃高かった。
- ② 4月の気温は、第5半旬を除いて全般に高く推移した。平均気温は8.6℃で平年に比べ2℃高く、降水量は平年比105%、日照時間は100%となった。



2 生育状況

(1) 水稲

は種作業は概ね平年並に進み、は種進度は始めが4月12日、最盛期が4月16日、終わりが4月24日で、出芽揃いは良好である。ただし、一部で高温による葉焼けやが見られる。

(2) りんご

- ① 県生育観測ほ（弘前市独弧(とっこ)）のふじの発芽日は3月23日で平年より14日早く、展葉日は4月5日、開花日は4月25日、満開日は4月30日でいずれも平年より12日早かった。
- ② 第1回目となる「ふじの展葉1週間後頃」の薬剤散布は4月12日頃、次の「開花直前」の散布は4月25日頃が盛期となった。「落花直後」の散布は、5月4日から行われる見込みである。
- ③ 王林等の摘花や腐らん病の削り取りが行われている。

(3) もも

- ① 県生育観測ほ（平川市沖館）の川中島白桃の花芽発芽日は、4月7日で平年より9日早く、開花日は4月17日で平年より14日早く、満開日は4月20日で平年より14日早く、落花日は5月1日で平年より11日早かった。
- ② 管内における「開花直前」の薬剤散布は、4月14日頃から実施している。

(4) 夏秋トマト、ミニトマト

- ① 主力作型（4月下旬～5月上旬定植）の育苗は、寒暖の差が大きかったものの概ね順調である。燃油節減のために10日程度は種日を遅らせており、4月上旬定植の早い作型は減少している。苗の生育は5日程度早まっている。
- ② ほ場の準備は順調に進み、定植は例年並みの4月25日頃から始まり、5月上旬が最盛期と見込まれる。

(5) にんにく

- ① 県生育観測ほ（藤崎町福島）の4月10日現在の生育は、草丈は32.2cm（平年比134%）、生葉数は4.0枚（同比98%）であった。病虫害は特に見られておらず、欠株は少ない。
- ② 黒マルチ栽培の調査ほ場では、平年より12日早い4月13日にりん片分化期に達した。

(6) トルコギキョウ

- ① 苗の生育は概ね順調で、病虫害の発生は見られない。
- ② 定植作業は3月中旬から始まり、順調に進んでいる。
主体となる8月出荷の作型は、4月中旬から5月中旬まで定植作業が行われる見込みである。